

8月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
なし類		8,964	前年並	8,289	324	101%	333	5	0.1%	九州産地(佐賀・福岡)は7月下旬には10kg箱へと切り替わり、8月上旬にピーク。関東は7月下旬からは千葉産が始まり、8月入れば茨城産もスタート。早かった前年と比べれば5~3日程度遅れており、関東産「幸水」のピークが盆前~盆中にかけてとなる見込みから前年ほど上旬の入荷比率は高くない。若干小玉傾向であるが、他品目の品薄もあって好調な販売。
もも		5,666	少ない	5,676	430	106%	440	675	11.9%	前年と違い生育は遅い計画ではあったが、気温が高い事や平年に比べ梅雨明けが早い事を考えると、8月も玉肥大は鈍く小玉で作柄は不良になる可能性がある。山梨・福島・長野とも8月上旬はあるものの下旬は少なそう。山形県はここ2年間7月下旬からの販売ではあったが今年は平年に戻って8月5日ごろから「あかつき」の出荷開始。
りんご(つがる)		1,354	多い	1,174	309	96%	331	379	28.0%	長野産「夏明」が8月上旬から出荷開始となり、29年産新リンゴの販売が始まる。前年比ではやや遅れ気味であるが、現時点では着果量も十分に確保されており、8月中旬には「つがる」の出荷が始まって下旬にかけて数量もまとまってくる。本年は青森の冷蔵品も残量があることから本格的な販売の切り替えは9月に入ってからとなるだろう。
ぶどう類		4,126	やや多い	3,611	860	103%	813	974	23.6%	山形県産の「デラウエア」は7月下旬の出荷遅れ部分が8月上旬に入る。山梨県産の大房は気温が高い事や梅雨明けが早い事が出荷に影響(着色遅れ及び不良)を与えかねない、現状は生育は遅いものの盆前はある程度、数量の確保できる状況である。長野県産の大粒系品種の出荷は前年比やや減。
メロン類		2,264	やや少ない	2,407	437	104%	418	461	20.4%	関東産地のメロンは7月でほぼ切りあがり、8月は北海道・青森産中心となる。若干生育遅れが見られ、北海道産の赤肉メロンでは盆後に出荷のピークが来る可能性もあることから、盆前までは価格も維持されよう。アールスメロンも盆前にかけて引き合い強まり価格も上げ基調だが、盆後には一転して下げの展開に。
すいか類		9,955	少ない	10,139	174	110%	170	5,027	50.5%	長野・山形など各産地ともに8月上旬は出荷出揃ってピークに入り、盆前までは数量ある見込み。また、北海道産「ダイナマイト」の肥大は良好で5L中心に。レギュラー品は道内の引き合いも強く関東への出荷は少なくなるかも知れない。盆明けまで販売あり。